

どこでも簡単に眼の検査！スマホアタッチメント型眼科医療機器 ‘Smart Eye Camera’

技術/サービス概要

実現する地域社会のイメージ

Smart Eye Camera (SEC) は、いつでもどこでも簡単に眼科検査ができるスマホアタッチメント型の医療機器。スマホのカメラと光源のみ利用し、既存の医療機器と同等の性能が証明されている。細隙灯顕微鏡モデルでは、白内障、結膜炎、ドライアイなど全ての前眼部疾患が診断可能で、島の診療所でSmart Eye Cameraを導入することで、**アプリ内で眼科専門医と連携しながら、眼科医がその場になくとも眼科診療**を提供できる。



眼科専門医との遠隔連携モデル



技術/サービス情報

サービス分野（大）	医療
サービス分野（小）	眼科、遠隔診療
サービス購入者	自治体（診療所）
サービスの概要	Smart Eye Cameraで眼科専門医と連携し、島の診療所で眼科診療を行うことができる
サービス利用（受益）者	島民

サービスにより期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> より専門的な眼科医療を、大きなオペレーションの変更なく取り入れられる 眼科専門医の遠隔診療が島から受けられる
サービスの特性・優位性	<ul style="list-style-type: none"> 眼科専門医への読影依頼やチャットでの相談がアプリ内で気軽に可能 デバイスだけでなく、眼科イベント開催など島の眼科医療について幅広くサポート
対応可能な地理特性	インターネット環境が必要（Wi-Fiなど）

どこでも簡単に眼の検査！スマホアタッチメント型眼科医療機器 'Smart Eye Camera'

小規模／大規模

医療

税別価格（参考）

項目	イニシャル	ランニング (月額)
レンタル	50,000円	6,000円
購入	260,000～ 276,363円	(3年以降は、 システム利用料 909円)

サポート体制
および関係者
(導入時・導入後)

【眼科医のサポート】

- ・専用アプリ内・LINEアプリで眼科専門医にコンサルテーション可能
- ・通常、数分～数時間で読影結果返却
- ・必要に応じて、オンラインで遠隔診療も可能

【機器のサポート】

- ・LINEアプリ等でいつでも相談可能
- ・使い方はオンラインで直接ご説明

【眼科イベント】

- ・視能訓練士（眼科検査専門の医療従事者）が島を訪問し、遠隔で眼科専門医と連携しながら眼の検査を受けたり眼科医に眼のことを相談したりできるイベントを実施可能
- ・東京都離島で実施実績あり

企業情報

事業者名	OUI Inc.（株式会社OUI）
所在地	東京都港区南青山2-2-8 DFビル520
設立年	2016年
URL	https://ouiinc.jp/
問い合わせ先	info@ouiinc.jp

無料トライアルの有無

有（約1か月間）

購入までの所要期間
(参考)

レンタル：1週間ほど
購入：在庫状況により1週間～2週間ほど

その他
(補足事項及び注意事項)

Smart Eye Cameraの細隙灯顕微鏡モデル、直像鏡モデルは医療機器登録済み（どの診療科でも保険点数請求可能）

どこでも簡単に眼の検査！スマホアタッチメント型眼科医療機器 ‘Smart Eye Camera’

小規模／大規模

医療

技術/サービスの導入実績

離島での
導入事例東京都新島村 / 式根島 / 群島型属島
(人口) 474人 (R2国調)

式根島は、東京から高速ジェット船で約3時間の距離に位置する離島。式根島唯一の診療所には医師が1名常駐しているが、島の医療を一手に担うジェネリストの医師である。眼科は数ある診療科の中でも専門性が高いと言われ、眼科医でなければ診断はもちろん、緊急性の判断や適切な処置の判断も難しいと言われている。

船で10分の距離にある新島の診療所では、2、3か月に一度、毎回2日間の眼科診療日が設けられているものの、「急に眼が痛くなった」「急に見えづらくなった」などの場合、そのタイミングを待つのは現実的ではない。

現在、式根島にはSmart Eye Cameraが導入されている。眼に異常を感じて受診した患者さんがいれば、島の医師や看護師の方がSmart Eye Cameraによる眼の検査を実施し、必要に応じてアプリ内で直接東京の眼科医と連携し、所見から考えられる疾患や適切な処置について検討している。

また、視能訓練士（眼科検査専門の医療従事者）が島を訪問し、遠隔で眼科専門医と連携しながら眼の検査を受けたり眼科医に眼のことを相談したりできるイベントを過去2回実施し、デバイスだけでなく式根島での眼科医療のサポートを行なっている。



→Smart Eye Cameraを使用する
式根島診療所の医師

導入自治体・利用者
からの声

離島の医師からのコメント

「Smart Eye Camera」の導入により、診療の利便性が飛躍的に向上し、スタッフや患者様からも継続的な運用を望む声が寄せられている。眼科専門医が迅速に遠隔で診断を行うことで、これまで「わからないですね」で済ませていた症例に対して、「眼科の専門医に確認できる」と患者へ説明できるようになり、安心感の向上に繋がっている。また、緊急性の判断が可能となり、適切な対応がとれるようになった。

看護師含むスタッフからも、実証実験の際に検査を受け、高い満足度が得られたとの評価があった。現場の看護師からも「Smart Eye Cameraは補助具があり、誰でも簡単に使用できる」との強い支持があり、現場の利便性が実証されている。

Smart Eye Cameraの導入により、離島地域における眼科診療の質が向上し、迅速な診断と適切な対応が可能になったことが明確となった。

今後のさらなる普及と運用の継続を期待する。

離島での導入実績
(全国での実績)

離島：10自治体（伊豆諸島・小笠原諸島の8島、奄美大島、宮古島）
全国：約100件（へき地の医療機関、訪問診療機関、健診機関、企業、自治体など）